

第79号



すいせん

職員 野崎洋輔

今年は新型コロナウイルスの影響もあり、園内での納涼大会になりました。今年のテーマは「子供も大人も楽しむ納涼大会」でした。

今年は今までにない〇×クイズやイントロクイズ、あの三瓶さんの皿回し、子供と大人のオタ芸も盛り上がりました。職員の出し物のピエロも大好評でした。毎年恒例の軽音のライブやダンスサークルの発表もあり、期間が短いながらも、一生懸命練習した成果が出ていて、感動しました。私は司会で壇上から見ている、テーマ通りの子供も大人も楽しめた納涼大会になったのではないかと感じました。



納涼大会

小4 N・T

みんなで前で踊った時、緊張したけど楽しかったです。色々と賞品をもらって嬉しかったです。出し物は色々あって可愛かったし、風船を作るのとか、ビンゴが楽しかったです。

去年とは違った納涼大会だったけどみんなでできて、盛り上げて、とても楽しかったです。

小4 A・F

納涼大会で、私はダンスや〇×クイズ、イントロドンに参加しました。

一番楽しかったのは、ダンスの発表です。覚えるのが大変だったけど、うまく踊れてよかったです。

イントロドンで一回だけだったけど当てられてうれしかったです。



感想はこちらまで！

ホームページ <https://www.jigyodan.org/katsuyama-gakuen/>

メールアドレス

katsuyama@katsugaku.org

幼横キャンプ

職員 横川裕子

一日目の鴨川シーワールドは、初めて見る大きなシャチにみんな興味津々。シャチのショーで水浸しになって喜ぶ子、嘔然とする子、泣き出す子…。貴重な体験を出来たと思います。帰ってからは、小横キャンプで作ったカレーを頂き、皆お腹いっぱい食べ、夜は花火を楽しみました。



二日目は、大きなプールで水遊び。お風呂よりも大きいプールでたくさん遊びました。

二日間お天気にも恵まれ、みんな怪我無く過ごせ、夏の良い思い出になったのではないかと思います。



小横夏キャンプ

職員 池田郁哉

新型コロナウイルスの影響もあり、園内での活動が主でしたが、沢山の協力でいつもとは違う日常を体験することが出来ました。天候に恵まれ、快晴の中行われたキャンプ。一日目の午前中は、女子は藍染、男子はうちわ作り。講師の方の話を静かに聞き、作品作りに没頭する子供たちの様子が見られ、各々が納得のいく作品に仕上がりました。午後は水鉄砲遊びでチームに分かれて対戦しました。そし夕食は具沢山なカレーを食べ、テントで一晩過ごしました。

二日目はB&Gプールに行き、暑い中のプールはとても気持ち良く大人も子供も楽しむことが出来ました。そして最後は佐久間小学校に行きB&Gをしました。

私は始めて横割り活動に参加をしましたが、普段体験できないことが沢山あり、とても充実した2日間を過ごすことが出来ました。暑い中でのキャンプでしたが、子供達が怪我や事故なく元気に遊ぶことができ、良い夏の思い出が出来ました。



小5USS

キャンプでは、うちわづくりをやって上手く出来て楽しかった。プールも楽しかったし、バーベキューでは火おこしを担当しました。たのしいことがいっぱいあったので、来年のキャンプも楽しみたいと思います。



職員 松坂典子

「バテイ！1・2・3…」雲ひとつない晴天の鎌ヶ浦海岸、小学生と私たち小横職員は、ライフジャケットを身につけ、砂浜に並びました。今年は諦めていた海水浴、昨年台風被害を受けた鋸南町の子どもたちへのプレゼントという事で、B&G財団主催の企画に参加することが出来ました。

小横外出



カメラ、サップ、バナナボート、子供たちは初めて体験するものばかりです。大勢のスタッフの方がサポートについてくださって、笑顔いっぱい楽しい時間を過ごすことが出来ました。

感想はこちらまで！

中横夏キャンプ



中3 M.K

夜空に浮かぶ無数の光が一つ一つ消えぬよう輝き、毎夜人々を照らす。
「また光った！」と嬉しそうにはしゃぐ僕等に連れられて職員の方々もはしゃいでいた。

何かを願う、というよりは、流れた星を観てすこいと興奮していただけだったが、楽しいキャンパスの一日目の終わりに思うと少し残念な気持ちであった。

こうして年の差や性別など関係なく、ただ楽しい綺麗だと星を観れる夜はもうないかもしれない、そう思うともう少し、ラスト一回流れたら。などとなかなか帰れなそうだった。

自分は、まどもに流れ星を観たのは初めてで、線香花火のような傳さに、正直鳥肌が立ってしまった。夢のような夜に心を奪われ、綺麗な輝きに魅力を感じた。
そんな夜空に込める思いが、また感じる事ができ夢へ終わりを告げよう願った。

職員 丹治有輝

今年度の中学生夏キャンプでは一日目に赤山地下壕での見学と、波佐間の宿泊施設にてBBQと花火をしました。二日目は海でサップを体験して力いっぱい遊んでから、学園へ自転車で帰りました。

2日間合わせて28キロの自転車での移動であり、太陽照り付ける暑い中、水分補給をしながらみんなで頑張ることができました。

私は初めての横割り活動であり、わからない事が沢山ありました。参加児童が楽しめるものを考え、先輩職員と協力して準備したものが形となってたくさん笑顔や楽しそうな表情をみることができて、とても充実した気持ちになりました。参加した人たち全員が同じような気持ちになってくれたらいいなと思います。最後に、中横キャンプの開催に関わってくださった皆様、ご協力ありがとうございました。



わたしたちの町

職員 金山麗華

私が初めてこの町に住んで感じたことは「人が優しい」でした。車もない、近くに何かがあるのかも分からない、電車は一時間に一本で、知り合いも近くに住んでいない、頼る相手もない。新型コロナウイルスの影響で何もかもがこれまでと違う、感染拡大防止のため行動範囲も限られ、画面越しでしか親しい人とも会えない。そんな中始まった初めての一人暮らし。引越したばかりで周りに何かあるのかも分からない中、地元の方が優しく声を掛けてくれました。困ったことがあれば言ってね。あつちの方にはくがあるよ。以前ここにはこんな建物があったんだよ。挨拶をすれば笑顔が返ってくる。日常の些細な会話が嬉しくて、とても安心しました。

そして、優しく温かい人たちのいるこの町がすぐに好きになりました。この町の魅力をもっと知りたくて、時間さえあれば近くを散歩するようになりました。これからも色んな裾南町の良さを探していければと思います。

感想はこちらまで！

ホームページ <https://www.jigyodan.org/katsuyama-gakuen/> メールアドレス katsuyama@katsugaku.org



私の中学校での初めての運動会は新型コロナウイルスの影響でいつもと違う運動会だった。だけど、できないよりはいいし、できたことがうれしかったです。ソーシャルディスタンスをたもってやる競技ばかりで大変なことかもあったけど楽しかったです。

中一 A.F



秋は、運動会が行われましたー
新型コロナウイルスの影響でいつもと違う運動会でしたが、みんなよく頑張りました！

今年の運動会はいつもと違って楽しかったです。まず1つ目は、5、6年生の係です。私は「お世話係」につきました。午前は低学年の面倒を見ていて団体競技の後は手を洗うように言ったりと大変でしたが、お世話をするのは楽しかったです。次に2つ目は、徒競走です。徒競走は最初は5位でしたが、カーブで追い抜いて3位になりました。みんなから「足はいいじゃん」と言われて嬉しかったです。続いて3つ目はソーラン節です。端っこで踊ったけど、学園の先生に見てもらえて嬉しかったです。はだしがとても痛かったです。

小6 Y・M



幼稚園お楽しみ会

職員 藁谷晴香

新型コロナウイルスの関係で、例年とは違った形での開催となりました。グループに分かれて、お店巡りをして好きなジュースを選んだり、お菓子を貰ったり、くじを引いたり子供達は楽しみました。Yちゃんには幼稚園では普段と違った表情をしていて、お友達と一緒に過ごしているところや先生の話を聞き、他の子へ教えてあげたり、お店やさんで「〇〇をください」という時に、緊張する表情があったりと違った一面を見ることが出来ました。

鉾南町育成会主催

チャレンジ

ゲーム大会

小5 S・S

チャレンジゲーム大会では新聞紙をおなかに乗せながら走るレースで1位をとることが出来ました。とてもうれしかったです。来年も行きたいです。



編集後記

新型コロナウイルスの影響でいつもとは違う夏を過ごしましたが、その中でも楽しく過ごすことができました。秋には運動会も無事に行われ、子供達も元気に過ごしています。今後とも勝山学園をよろしくお願いいたします。

東京都勝山学園広報委員会

編集長 正木郁江

編集委員 丹治有輝 金山麗華

鈴木綾菜 横川裕子

小林まさみ

令和2年度
編集・印刷・発行
千葉県安房郡鉾南町下佐久間 1469
社会福祉法人東京都社会福祉事業団
東京都勝山学園
TEL0470-55-0541
発行年月日
令和2年11月15日

感想はこちらまで！

ホームページ <https://www.jigyodan.org/katsuyama-gakuen/> メールアドレス katsuyama@katsugaku.org